

令和6年2月26日



鹿児島市立吉田北中学校

『人生において大切なこと』

校長 鮫島 讓

学校は子供たちの学力向上を図ることが最大の使命ですが、学力テストでは測ることができない非認知能力（意欲や自制心など）を伸ばすことも大切であり、非認知能力を身に付けることは、人生の成功において極めて重要であるといわれています。学校というのはただ単に勉強する場所ではなく、先生や同級生などから多くのことを学び、非認知能力を培う場所となりますが、「自制心（我慢する力）」や「やりぬく力」について、次のような研究結果が出ていることを御存じでしょうか。

コロンビア大学の心理学者であるミッシェル教授が、自制心を研究するために、当時勤務していたスタンフォード大学内の保育園で、186人の4歳児に「マシュマロ実験」を行いました。子どもたちにマシュマロを差し出し「いつ食べてもいいけど、大人が部屋に戻ってくるまで我慢できれば、マシュマロを2つ食べられる」とだけ伝えて大人は部屋を出ていきます。大人がいつ部屋に戻ってくるのかは子どもたちに伝えず出ていったそうです。そして15分後に大人は部屋に戻ってきました。約2/3の子どもたちは我慢できずにマシュマロを食べてしまいましたが、1/3の子どもたちは我慢して2つのマシュマロを手に入れました。その後ミッシェル教授は彼らの人生の追跡調査を行いました。その結果、彼らが大学を受験する前に受けた共通テストの点数を比較したところ、我慢した子どもたちの点数は、我慢できなかった子どもたちの点数よりもかなり高かったことを明らかにしました。また、「やりぬく力」については他の学者が研究を行い「やりぬく力」が高い人は人生を成功に導く力が高いことを明らかにしました。（※参考文献「学力の経済学」）

私は教師生活を35年以上続けていますが、いつの頃からか子どもたちの「自制心」や「やりぬく力」が弱まっているのを感じています。生まれたときからスマホやPC、ゲーム機がそろっており、以前は手作業で行っていたことも便利な機器を活用して処理できるようになりました。つまり、何不自由なく生活できるようになったことが一因であると考えます。手間がかかるけれども、忍耐強く取り組んだり、一つのことを成し遂げるためにコツコツ努力することを経験したりすることで、「自制心」や「やりぬく力」を身に付けることができるようになるのではないのでしょうか。

他の中学校に比べて様々な体験活動を充実させているのは「非認知能力」を伸ばしていきたいと考えているからです。ご家庭におかれましても「自制心」や「やりぬく力」を伸ばすために、子どもたちと意見を交わす機会があれば嬉しいですね。

行事

鹿児島をまるごと味わう給食週間の取組

1月24日は、学校給食記念日となっており、今年度は1月22～26日の一週間を「学校給食週間」と設定して、様々な取組を行いました。

本校では、生徒会の保体環境部が中心となり、生徒に学校給食に対する関心や感謝の気持ちをもたせる目的で、普段お世話になっている給食センター等の皆さんに、感謝のメッセージカードや花の寄せ植えをプレゼントしました。また、給食に関する掲示物の作成や校内放送、「鹿児島まるごと給食クイズ」の作成等の取組を行いました。



行事

授業参観・学級PTA・家庭教育学級

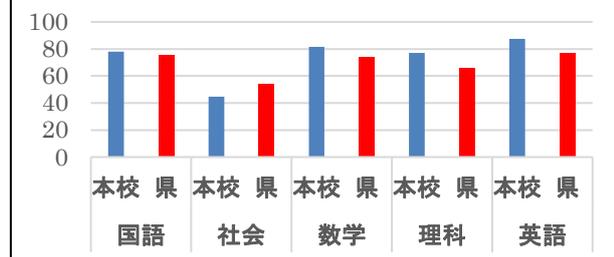
2月9日に、今年度最後の授業参観・家庭教育学級・学級PTAを開催しました。授業参観は、1年生理科、2年生社会、3年生英語を実施しました。家庭教育学級では、閉講式が行われ、校長先生の講話がありました。また、グループワークで「子育ての悩み」等について、活発に意見交換を行っていました。学級PTAでは、今年度の反省や来年度のPTA学級役員とPTA専門部決めが行われました。来年度も、保護者の皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。



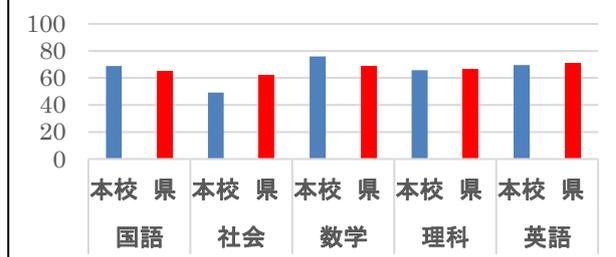
## 令和5年度鹿児島学習定着度調査結果より

1月16・17日に、1・2年生を対象に実施された鹿児島学習定着度調査の結果（県速報）が、8日に発表されました。この結果を基に、本校では分析を行い、今後、各教科で次のように取り組んで参ります。

### 令和5年度通過率【1年】



### 令和5年度通過率【2年】



#### 【国語】

1、2年生ともに、県の通過率をやや上まわっている。「書くこと、話すこと、聞くこと」に対する苦手意識が強い。そこで、授業においては、丁寧な読み取りができるように心掛けるとともに、言語活動を通して指導事項を身に付けることができるような授業を展開していきたい。また、図や表を活用して話の構成や展開を捉えることができるような活動を意図的に設定していきたい。

#### 【社会】

1、2年生ともに、県の通過率を下まわっている。地理的分野・歴史的分野ともに、基礎的・基本的事項の定着が不十分である。デジタルドリルやワーク、単元テスト等を効果的に活用して、基礎学力の向上を図りたい。また、個に応じた指導を徹底するとともに、課題解決的な授業づくりにも積極的に取り組み、思考力・判断力・表現力を育成できるように努めたい。

#### 【数学】

1、2年生ともに、県の通過率を上まわっている。全体的に通過率は高く、基本的な学習内容が定着している生徒は多いが、学力の差が大きい。そこで、個に応じた指導を徹底するとともに、基礎学力の定着している生徒については、基本的な概念を根拠に、数学的に分析して考察したり、表現したりすることができるように、発展的な学習にも取り組ませていきたい。

#### 【理科】

1年生は、県の平均を大きく上まわるが、2年生はやや下まわっている。グラフや表を読み取ったり、与えられた条件に対し、学習した内容を踏まえて考えたり、自分の考えをまとめて表現したりすることについて課題がある。そこで、デジタルドリルや小テストを活用して基礎的・基本的内容の定着を図るとともに、実験・観察では、予想や考察に対して、自分の考えを図や表、文章で表現したり、説明したりする活動を多く取り入れていくように努めたい。

#### 【英語】

1年生は、県の平均を大きく上まわるが、2年生はやや下まわっている。1年生では、基本的な語句や文法の理解については概ね定着しているが、対話文やまとまりのある英文を読み内容を捉えることや場面・状況等に応じて必要な情報を書くことには課題がみられる。そこで、文法規則や語彙等の知識を習得させるだけでなく、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能が統合された活動を授業の中に取り入れていきたい。2年生では、基本的な語句や文法事項の定着が不十分なため、「正確に書くこと」について課題がみられる。そこで、基本的な語句や文法事項の定着を図り、その知識・技能を活用する機会を多く設定し、繰り返しコミュニケーション活動を行う中で定着を図っていきたい。

## 3月の行事予定



- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1日 (金) 公立高校入試事前指導                 | 13日 (水) 公立高校合格発表    |
| 5日 (火) 公立高校入試 (~6日)               | 15日 (金) 生徒会専門部会     |
| 7日 (木) スポーツタイム                    | 19日 (火) 生徒朝会        |
| 8日 (金) 卒業記念給食<br>卒業式会場づくり (シート敷き) | 20日 (水) (祝) 春分の日    |
| 11日 (月) 卒業式予行 卒業式準備               | 22日 (金) 吉田小学校卒業式    |
| 12日 (火) 第77回卒業式                   | 25日 (月) 修了式 大掃除 辞任式 |
|                                   | 26日 (火) ~学年末休業日     |